

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 真庭市		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 719-3292 真庭市久世2927-2	
本票作成	部署名：環境課				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	市民の福祉向上を目的とし、地方自治に関する事務を行う。				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	上下水道施設		真庭市久世2927-2ほか	
	②	本庁舎		真庭市久世2927-2	
	③	旭水苑		真庭市野原9-1	
	④	クリーンセンターまにわ		真庭市檜西290	
	⑤	久世エスパスランド		真庭市鍋屋17-1	
⑥	津黒高原荘		真庭市蒜山下和1080-1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 150 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 28 年度)	(平成 30 )年度排出量	目標年度(令和 3 年度)
	14,561 t CO <sub>2</sub>	14,805 t CO <sub>2</sub>	13,833 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30 )年度排出量
	①	上下水道施設	5,179 t CO <sub>2</sub>
	②	本庁舎	1,004 t CO <sub>2</sub>
	③	旭水苑	602 t CO <sub>2</sub>
	④	クリーンセンターまにわ	625 t CO <sub>2</sub>
	⑤	久世エスパスランド	526 t CO <sub>2</sub>
⑥	津黒高原荘	335 t CO <sub>2</sub>	

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 29 年度 ～ 令和 3 年度 ( 5 箇年度)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	( 30 ) 年度削減実績	目標削減率 目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 1.7 %	5.0 % <input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 30 ) 年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

全体としては、北房小学校や真庭市立中央図書館が整備され、多少の電力の増加がある。しかし、全体を通して、燃料使用量の節約やごみ分別による燃焼量の削減があり、温室効果ガスの削減に貢献していると考えられる。今年度以降の省エネ設備が整った施設の持続的な稼働により、温室効果ガスの削減が期待される。

**【推進体制】**

平成28年度に策定した第3次真庭市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)に基づき、真庭市エネルギー管理規定により、市長をトップとした省エネ管理委員会のもと、引き続き施設の省エネ対策を実施していく。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
蒜山B&G海洋センター(体育館)	(平成30年度実施分) 省エネ機器の整備(LED照明)
真庭市内の各地域	(今後実施予定分) COOL CHOICEの推進

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	バイオマスボイラの導入
その他	無	

**【その他特記事項】**

--